

オープン講座 & イベントの様子



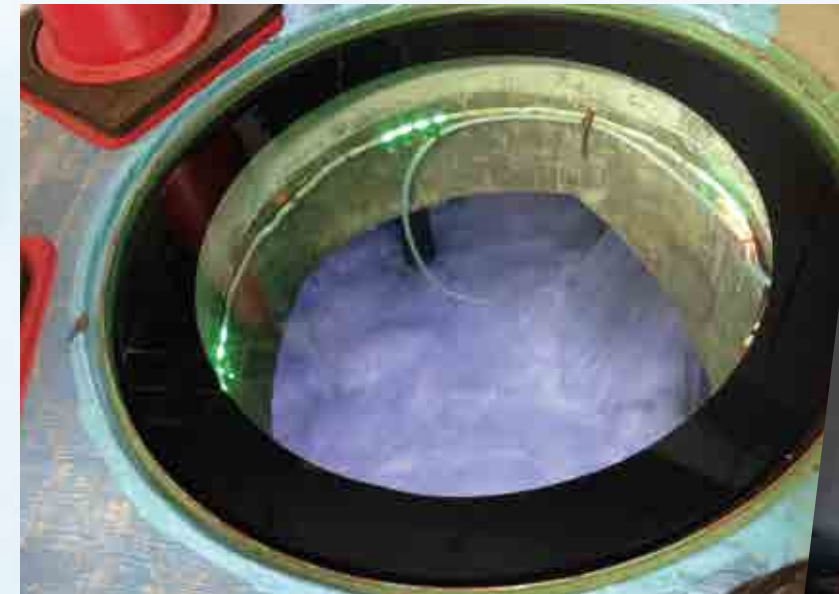
水の学校

水道水はどうやって作られる？市内浄水場見学

主催：武蔵野市水道部

武蔵野市の水道水は、その約8割を市内で汲み上げた地下水が占めています。市内に27カ所ある水源井戸や浄水場での処理の仕組みについて説明を受け、場内を見学。浄水場の頭脳とも言える監視室では24時間体制で貯水量や市内に送り出す水の量をチェックしています。

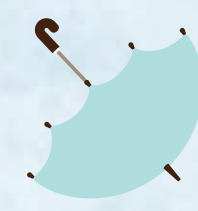
市内の水源井戸から原水が集まってくる場所では、勢いよく合流する水の様子を上からガラス越しに見ることができました。



多摩川の下にトンネルあり！下水道連絡管施設を歩こう！

協力：東京都下水道局

多摩川を挟んだ八王子水再生センターと多摩川上流水再生センターは、多摩川の河床から約6m下で、太さ3.5mの連絡管で結ばれています。約570mの連絡管を歩いた後、処理工程に沿って多摩川上流水再生センターを見学しました。また、処理水の一部を更に砂ろ過処理・オゾン処理によってきれいにして、野火止用水・小平市より下流の玉川上水・千川上水へ送っている清流復活事業についてもお話をうかがいました。



日本初の近代下水処理施設、旧三河島污水処分場ポンプ場と水再生センター見学

協力：東京都下水道局

2014年度連続講座での提案を元に実施しました。旧三河島污水処分場ポンプ場は、1922年に運転を開始してから1999年まで旧態を保持しつづけて、引退後の2007年に下水道分野の遺構では初めて国の重要文化財に指定されました。隣接する稼働中の水再生センターでは、下水処理の工程に沿って施設を見学。時代と共に変わってきた処理方法について知ることができました。



3R環境講座「廃油キャンドルを作ろう！」

主催：環境部ごみ総合対策課・クリーンセンター

「水の学校」では、武蔵野市の水に関わる様々なセクションと連携してイベントを実施しており、この回は環境部クリーンセンター主催の3R環境講座「廃油キャンドルをつくろう！」を開催。家庭から出る使用済み油を使ったキャンドルづくりをきっかけに、廃油と下水の関係や廃油のリサイクルについて考えたり、クリーンセンターで家庭から出るごみかどのように処理されるか見学しました。



水えんにち

中央図書館と第一浄水場を会場に、8月1日の「水の日」に合わせて開催。打ち水、きき水、マーブリング、水循環すごろく、浄水場の見学など、水にまつわるゲームや工作、体験を実施し、子どもも大人も気軽に水に親しみ、水とくらしの関わりを遊びながら学べるおまつりとなりました。近隣商店会等の協力で、かき氷やミストシャワーも登場し、家族連れなど大勢でにぎわいました。



下水道写真家 白汚 零 写真展「足もとに広がる地下水道」

日本で唯一の下水道写真家、白汚 零さんの写真展を武蔵野プレイス1階ギャラリーにて開催しました。武蔵野市が管理する女子大通り幹線その他、渋谷区にある宇田川幹線、神田下水など都内の下水道写真7点と、北海道札幌市や愛知県名古屋市など全国の写真4点の計11点を展示。普段は見ることのできない下水道の内部を白汚さんならではの視点で切り取った幻想的な写真の数々に、多くの方が足を止めていました。



【出展】武蔵野環境フェスタ

主催：武蔵野市

武蔵野市では、市民一人ひとりが身近な環境について考え、気付き、環境に配慮した暮らしを心がけるきっかけづくりとして、環境活動に取り組む市民団体や事業者、大学と協力し、楽しみながら環境を学べるイベントを実施しています。「水の学校」は、ブースを出展し、受講生・修了生（サポーター）とともに楽しく体験できる「きき水」「水クイズ」「水質実験」などを行っています。

